

小学校 3年

音を出して調べよう

高石市立清高小学校

教科	理科	単元名	音を出して調べよう
----	----	-----	-----------

本時のねらい

・音が出ているものに触れることで、気づいたこと、疑問に思ったことを見つける。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・ムーブノートの「ひろば」に提出することで、短時間でクラス全員の意見を見ることができ、音を出す中で気づいたことや疑問に思ったことに着目し、音の出る性質についての気づきにつなげる。

・ムーブノートで、児童からた意見を整理することにより、次の課題につなげることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・電子黒板 ・Chromebook ・ミライシード（ムーブノート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○小さい音や大きい音を出すときの経験を思い出す。 (紙笛のことも思い出す)	
展開 (35分)	○全員で輪ゴムギターを作る。 ○輪ゴムギターで音を出したときの輪ゴムの様子を観察し、気づいたこと、疑問に思うことをムーブノートに書く。 ・小さい音の時と大きい音の時の輪ゴムの震え方が違う。 ・高い音や低い音の時の輪ゴムの割り具合が違う。など。 ○「ひろば」に提出されたものから、児童が友だちの意見と、自分の考えを比較する。 ○グループで話し合い、気づいたことを整理する。 ・音が出るときは輪ゴムが震えている ・音の大きさによって輪ゴムの震え方が違う。など	・ムーブノートの「ひろば」に提出することで自分の考えと他の人の考え比較したり参考にしたりすることで、輪ゴムの震え方に気づくことができる。
まとめ (5分)	○ふりかえり ・輪ゴムギターでは、「音が出るときには輪ゴムが震えていて、音の大きさによって、震え方が違うこと」を共有し、次時の実験方法を考える。	・ムーブノートに児童の意見を残しておき、次時の導入時に、今回の振り返りを瞬時に確認する。これにより、次の実験をスムーズに行える。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1: ムーブノートに自分の考えを書いている様子



写真2: 自分の考えと友だちの考えを比べている様子



写真3: 考えを共有している画面の一部

児童生徒の反応や変容

・友だちの提出した意見を参考にすることで、震え方の違いによって、音の大きさが違うことに気づき、自分で何回も実験を行っていた。

・ムーブノートを活用することで、友だちの意見に興味を持ち、グループの話し合いに活発に取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

ムーブノートを使うことによって、一人ひとりの考えや意見を共有することができ、より深い学びにつながる。また、普段、発表に消極的な児童からも要点的を射た意見が提出され、取り上げることができる。表現の仕方にそれぞれのござわりがあり、自分の意見と他者の意見を整理できない児童や、輪ゴムの震え方に着目できない児童に対しても、ムーブノートを使うことが、視覚的支援になり、児童の考えを促す手立てになった。